

事業計画・収支予算書

〔公益財団法人浜松市花みどり振興財団
平成 28 年度〕

平成 28 年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団では、はままつフラワーパークの適切な管理運営を通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、魅力あふれる空間づくりを進めてまいります。

平成 28 年度は 5 ヶ年に亘る第 2 期指定管理期間の初年度でもあり、これまでの第 1 期指定管理期間（平成 25～27 年度）で培った集客実績と管理ノウハウを礎に、更なる飛躍を遂げていくため、今般の指定管理者公募において当財団で策定・提案した新たな企画の着実かつ効果的な展開を図るとともに、今後も財団一丸となって健全な財政基盤の確立及び地域の信頼と期待に応えられる取り組みを行い、円滑な法人運営に努めてまいります。

また、浜名湖観光圏内の観光施設を中心に毎年開催される「浜名湖花フェスタ」では、当園を主な拠点として 1,300 本の桜と 50 万球のチューリップが咲き誇る圧倒的なボリューム感に満ちた庭園「世界一美しい桜とチューリップの庭園」の魅力度を多方面に発信しつつ、昨年度造成した「フジの虹のトンネル」が数年後には新たな観光名所として着実に地域に根付くよう、適切に管理し、その効果的活用を行ってまいります。

このように見応えある庭園と非日常的な癒し空間の創出により、入園者の増加に寄与する相乗効果を発揮していくとともに、「さらに美しく成長し続ける園」を具現化し、浜名湖地域の観光振興の一翼を担えるよう、取り組んでまいります。

併せて、東海地区旅行会社の主要営業拠点等への誘客セールスや団体客向けツアーの設定等、これまで以上に集客対策・PR 戦略を強化し、広域観光拠点として基盤固めに努めるとともに、観光協会等関係機関や企業、団体等との連携を深め、外国人観光客の誘客対策である「インバウンド事業」にも積極的に取り組み、新たな顧客層の開拓を図ってまいります。

一方で本年度も、当財団の主要施策である「花みどり園芸文化の普及」や「園芸情報発信機能の強化」及び「浜名湖周辺の地域振興」等はもとより、学生等研修生の職場体験受入や学校への出張講座等「花育」と呼ばれる教育振興事業や園芸福祉（公園福祉）事業の積極的な推進により、心身の健全な発達に寄与する生涯学習づくりも目指してまいります。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、「高度な園芸管理技術」「施設機能や特性に精通」「観光関係者との信頼関係」といった当財団の持つ強みを活かし、公益財団法人として適切な経営に努めるとともに、花みどり文化の拠点機能の充実を図り、顧客満足度の向上や創意工夫溢れる園運営を実現してまいります。

2 事業内容

【公益目的事業】

「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

- (1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務
 - ＜当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布＞
 - ア キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定
 - イ キクのオリジナル品種の育成及び配布
 - ウ 浜松PCガーベラ部会より依頼された実生苗の生産・育成
 - エ ラン生産者組合との協力連携によるランの育成及び配布

- (2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務
 - ＜生活の質の向上や生きがいをづくりとしての地域密着型生涯学習活動の推進＞
 - ア 市民からの日常的な園芸相談の受入
 - イ 「塚本こなみ園芸教室」ほか各種園芸教室の開催
 - ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
 - エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
 - オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
 - カ 「車椅子押し隊」など学生ボランティアの参加受入により健全な青少年の育成を行う「心根（こころね）」教育の推進
 - キ 蛍の夕べや各種教室開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進
 - ク 「園芸療法プログラム」実践に向けた浜松市内2大学との連携協力事業の推進
 - ケ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを実践する事業の実施

- (3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務
 - ＜花みどりの情報発信による市民福祉の増進と浜名湖周辺の地域振興＞
 - ア 障がいのある人や高齢者、社会参画が困難な方々への園芸作業を通じた園芸福祉（公園福祉）事業の実施

- イ 観光圏振興に対する取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と館山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携
- ウ 周辺観光関連事業者や地域観光施設と連携した誘客活動の推進
- エ 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の促進
- オ ニューツーリズム事業としての着地型観光商品造成への積極的参画
- カ 館山寺温泉観光協会と連携したガイド付き蛍ツアー「蛍の見られる温泉街」等の実施
- キ フラダンスイベント等を誘致するほか、花みどりと文化芸術事業の連携と交流人口の拡大
- ク 障がいのある人を対象とした夜桜ライトアップに無料招待する「(仮称) ドリームイブニング事業」の開催等市民福祉サービスの充実

(4) 花き類の栽培展示業務

<3,000種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供>

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早春咲きのハナナと7万球のラップズイセン及び早咲きチューリップの展示
- オ 圧倒的規模を誇る桜とチューリップ展示の更なる充実（50万球）
- カ 花いかだによる水上装飾展示
- キ フジ棚及び「フジの虹のトンネル」の充実
- ク 西洋シャクナゲ、ヘメロカリスの植栽展示と多彩な「花のリレー」の展開
- ケ 熱帯スイレンの展示
- コ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- サ 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- シ ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等装飾花壇の活用と新たな癒し空間の創出
- ス モザイクカルチャー作品（「ほほえみのハーモニー」等）の装飾とその維持管理
- セ 国内植物園で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

<誰もが安心して利用できる公園で快適な癒しの空間の提供>

- ア 夜間開園の充実（夜桜、蛍の夕べ、クリスマスイルミネーション等）
- イ ユニバーサルデザインに対応した散策園路やトイレの整備・充実
- ウ 既存園内移動車両2編成（56人乗り車椅子2台収容可/57人乗り車椅子2台収容可）の定期整備の実施と新型車両1編成（53人乗り車椅子2台収容）の充実による園内移動手段の改善
- エ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の肥培管理と施設維持

- オ 大温室「クリスタルパレス」の管理運営
- カ 大温室ガーデンシアター展示の年間企画及びその推進
- キ 「花みどり館」での体験学習機能の充実
- ク 熱帯植物の育成管理
- ケ 球根ベゴニアの育成管理
- コ サボテン類、珍しい草花の育成管理
- サ 絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の育成管理
- シ 「オーバーシード」を活用した芝の常緑化と見応えある庭園空間の創出
- ス 展示植物への樹名板設置（既存ラベルの改善）と管理担当者表示による園の「見える化」推進

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

＜浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進＞

- ア 花の図書館「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」が連携し、「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園との合同イベント実施強化による誘客増の取り組み
(クワガタの育て方教室、国蝶オオムラサキ観察会の新規開催)

(7) 「浜名湖花フェスタ」の定着化

- ア 平成 28 年度開催「浜名湖花フェスタ 2016」の成功と地域振興拠点の定着化
- イ 2017 年 NHK 大河ドラマ「おんな城主直虎」放映を控え、直虎ゆかりの施設との連携強化と誘客プロジェクトへの参画

【収益目的事業】

「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」

(1) 園内の売店・レストラン（カフェ含む）・遊具・自動販売機の活用によるお客様の利便性の向上及び販売等に関する業務

＜快適な便益施設及び更に魅力的なアメニティゾーンの形成＞

- ア 直営ショップ、レストランでのクレジットカード決済機能導入による利便性の向上と売上高の一層の強化
- イ 斬新な創作メニューの提案及びオリジナル名物メニューの開発・充実
(昨年度までの実績：野菜カレー、クレミアソフト、地元産しらすを使用した遠州双子丼等)
- ウ リニューアルしたこども広場を中心とした快適で充実したアメニティゾーンの形成

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 人件費の抑制

嘱託職員の採用や定年退職後職員の再雇用等、弾力的な人員配置や臨時雇用により、人件費の抑制に努めます。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	増減
正規職員数	27 人	29 人	△2 人
人 件 費	153,803 千円	169,289 千円	△15,486 千円

(2) CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）の考え方を導入するとともに、5S委員会での取り組み等により顧客満足度の的確な把握とお客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

具体的な取り組みとして、

ア アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等をマニュアル化し、その再発防止を徹底します。

イ アンケートで毎月数値化される「顧客満足度値」の向上を図ります。

（平成 28 年度目標満足度値 4.5 点 平成 21～26 年度平均値 4.4 点/5 点満点）

1 平成28年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	12	0
イ 事業収益	392,155	367,047	25,108
入園料収益	167,511	156,543	10,968
レストラン売上収益	46,929	44,857	2,072
売店売上収益	95,972	92,142	3,830
駐車場使用料収益	47,188	45,180	2,008
園内移動車両使用料収益	10,276	9,360	916
施設使用料収益	13,596	12,060	1,536
その他使用料収益	7,033	6,255	778
受取雑収入	3,650	650	3,000
ウ 受取指定管理料	111,000	144,000	△ 33,000
エ 受取利息	25	25	0
経常収益計	503,192	511,084	△ 7,892
(2) 経常費用			
ア 事業費	491,120	468,931	22,189
報酬	5,750	5,750	0
給料	73,517	76,897	△ 3,380
職員手当	30,582	31,739	△ 1,157
法定福利費	15,615	25,590	△ 9,975
退職給付費用	0	0	0
賃金	100,500	63,000	37,500
旅費交通費	400	400	0
報償費	15,388	13,178	2,210
燃料費	10,000	13,000	△ 3,000
光熱水費	23,700	20,700	3,000
備用品費	15,745	10,210	5,535
印刷製本費	1,842	1,842	0
通信運搬費	1,130	1,130	0
広告宣伝費	4,030	4,030	0

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	7,270	7,275	△ 5
交際費	30	30	0
会議費	120	120	0
厚生福利費	121	121	0
負担金	195	195	0
被服費	250	250	0
賃借料	1,722	4,622	△ 2,900
雑費	30	30	0
委託費	31,650	28,978	2,672
修繕費	10,105	3,870	6,235
保険料	1,241	1,091	150
原材料費	3,513	2,715	798
肥料農薬費	4,461	3,400	1,061
種苗費	39,815	46,200	△ 6,385
園内装飾資材費	3,000	3,000	0
売店材料費	58,454	57,090	1,364
食材費	20,891	20,425	466
大型イベント費	8,000	20,000	△ 12,000
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	1,953	1,953	0
イ 管理費	46,033	42,153	3,880
報酬	5,750	5,750	0
給料	13,004	12,677	327
職員手当	5,168	5,025	143
退職給付費用	0	0	0
法定福利費	4,417	5,861	△ 1,444
備用品費	30	30	0
通信運搬費	120	120	0
手数料	150	150	0
厚生福利費	140	140	0
負担金	400	400	0
委託費	2,554	2,700	△ 146
公課費	300	300	0
消費税	14,000	9,000	5,000
減価償却費	-	-	-
経常費用計	537,153	511,084	26,069
当期経常増減額	△ 33,961	0	△ 33,961

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 33,961	0	△ 33,961
一般正味財産期首残高	234,755	115,205	119,550
一般正味財産期末残高	200,794	115,205	85,589
II 指定正味財産増減の部			
1 (1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	255,794	170,205	85,589

※収支予算書は「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	0	0	12
イ 事業収益	230,958	161,197	0	392,155
ウ 受取指定管理料	78,547	0	32,453	111,000
エ 受取利息	25	0	0	25
経常収益計	309,542	161,197	32,453	503,192
(2) 経常費用				
ア 事業費	356,312	134,808	0	491,120
イ 管理費	9,380	4,200	32,453	46,033
経常費用計	365,692	139,008	32,453	537,153
当期経常増減額	△ 56,150	22,189	0	△ 33,961
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	6,625	△ 6,625	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 49,525	15,564	0	△ 33,961
一般正味財産期首残高	157,765	76,990	0	234,755
当期市建設負担金	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	108,240	92,554	0	200,794
II 指定正味財産増減の部				
1 (1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	0	0	55,000
指定正味財産期末残高	55,000	0	0	55,000
III 正味財産期末残高	163,240	92,554	0	255,794

【資金調達及び設備投資の見込みについて】

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

■資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定はありません。

■設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去または売却を含む。)の予定はありません。